

ふじ女 令和6年6月度特別作品

広島空港へ行く ふじ女

家族が広島空港を利用するときは、頼まれもしないのに、送迎を買って出ます。空港周りで遊びたいからです。八天堂で一休み、三景園で散歩、中央森林公園でサイクリング。これが、遊びの三点セットです。最近、飛行機が欠航になったり、遅延したりで、三点セットのはずが二点になったり、単独になったり。その他、三景園の鯉が減ってしまったり、菖蒲の蕾すらなかつたり、サイクリングが早刈りでできなかつたり。それでも、行くんですけどね。

順番の番号七十五の端午

子供の日はるばる第二駐車場

錦鯉群れて流るる橋の下

牡丹に初めの一輪があり

滝落ちて同じ水なくなるを見る

坂道のギア左右に新樹揺れ

下り坂止まらぬタイヤ風光る

夏の橋こちらとあちら結びゆく

スーツケース夏を挟んで進みゆく

開かれたトランク夏の荷が溢れ

《作品鑑賞》

雲雀

ご家族を広島空港まで度々送迎されるのですね。その機会を逃さず楽しく近辺を散歩しておられる様子、とても楽しそうに浮き立つような気持ちが伝わります。度々行っておられるようですが、同じところに行っても季節やその時のご自分の心境などにより違った新しい発見や思いがおりること察します。

順番の番号七十五の端午

子供の日はるばる第二駐車場

子供さんの無事を祈る気持ちや成長を飲んでおられる事を特に端午の季語から感じます。はるばるの言葉から、少し遠くても子供さんのためなら厭わず！の思いや深い愛情が伝わります。

坂道のギア左右に新樹揺れ

下り坂止まらぬタイヤ風光る

緑に燃える森の中を颯爽と車を走らせている様子が浮かびます。風光るの季語が絶妙です。

開かれたトランク夏の荷が溢れ

帰ってこられた子供さんの荷物、少し汗のついたシャツやお土産の風鈴などがあったのかと、勝手に想像が膨らみます。全体としてご家族への深い愛の中でご自分も緑眩しい季節を存分に跳ね回っておられる元気な様子が読み取れました。